

明日への挑戦で未来の技術をリードする

# DX推進計画2024



SDGs経営：新時代へ立ち向かうブランド企業の追求



株式会社 **サンテクノ**

2024年2月制定

# DX推進計画2024の策定にあたって

当社は、2002年の創立以来、温暖化を少しでも抑える業務に取り組んでみたいと考え、環境技術の提案を世の中に広めております。強い決意で会社の経営方針の柱に位置づけて地域発展を目指し、お客様に喜ばれる会社づくりを第一に考え、熊本の未来を切り開き、日本一暮らしやすい街づくりを推進し日々技術の研鑽に努めています。

近年、温暖化に伴う自然災害の急増や新型コロナウイルス感染症の出現など、私たちは数々の難局に直面しております。これらの事象により、環境に対する認識が大いに高まり、私たちが提供する環境技術への期待値も増していると理解しております。その一方で、デジタル技術の加速度的な進化は、私たちの経営環境に大きな波及効果を及ぼしています。私たちは、この技術を適切に利用することが、環境保全と生産性の向上に繋がる重要な手段であると認識しています。

このような状況を踏まえ、これまで以上の価値をお客様へ提供するために、私たちは「DX推進計画2024」を作成しました。デジタル技術の活用で、これまでの業務を変革し、効果的な技術者および監理者を育成することで、ふるさと熊本の未来を切り開いて参ります。



代表取締役 福田 善之

# 経営理念

## スローガン 成長・発展・幸せづくり

### 行動指針（10原則）… 人間力向上の誓い

- 一、常にお客様とのご縁に心から感謝しよう
- 一、常にお客様にはネガティブな対応は控えてポジティブな考え方で素直に対応しよう
- 一、常にお客様には仕事を通しておもてなしと創意工夫で信頼度を高めて行こう
- 一、常にお客様には技術の技と美しさに磨きをかけ能力向上に努め感動を与えて行こう
- 一、常にお客様には仕事を通して迅速な対応と安全・安心・安定を基本に安全第一を優先しよう
- 一、常に仕事上の目標達成はチームワークと団結で成し遂げて行こう
- 一、常に自分の能力向上へ挑戦し自信と成長を手に入れよう
- 一、常に毎日健康管理を忘れず健康な体力づくりに努めて行こう
- 一、常に職場の整理・整頓・清潔・清掃・躰で明るい職場をつくろう
- 一、私達は「働き方改革」導入で長時間労働の是正に努め労働生産性向上を目指し待遇改善に貢献します

- 1 **DXビジョン**
- 2 **戦略**
- 3 **環境整備 ～組織・人材育成・IT環境～**
- 4 **成果指標**

# 1 DXビジョン

## 経営理念

### 環境技術とデジタル技術の融合により熊本の未来を切り開く

#### DX ビジョン

これまで培ってきた「環境技術」と「デジタルテクノロジー」の融合を図り、激変する外部環境に対応し、お客様へ新たな価値を提供することで、ふるさと熊本の未来を切り開いていきます。

#### 実現の 方向性

#### デジタルを活用した技術者・監理者の育成

私たちは確かな技術力と機動力、迅速なサービス提供が強みで、技術者の育成が生命線です。デジタルテクノロジーを活用した育成に取り組むことで、技術力に磨きをかけ、お客様満足度を追求していきます。

#### デジタルによる業務改革

勤怠管理や日報報告などのバックオフィス業務をデジタル化することで業務の効率化を実現し、お客様と接する時間を拡大することで、新たな価値を提供します。

#### 戦略Ⅰ

効果的かつ効率的な  
技術者・監理者育成

#### 戦略Ⅱ

IoT・AIを活用した  
環境配慮型設備の実現

#### 戦略Ⅲ

計画的な業務のデジタル化

## 戦略Ⅰ

効果的かつ効率的な  
技術者・監理者育成

技術者と監理者の育成は、当社の生命線であり人材なくして当社の存続はありません。デジタルを活用した効果的かつ効率的な人材育成に取り組みます。

- 現場OJTに加えて、研修動画やEラーニングを活用した業務コンテンツを整備することで、時間と場所にとらわれない学習環境を構築します。
- 現場マニュアルを含む各種社内文書を電子化し、クラウドで公開することで、いつでも参照可能な環境を構築します。
- 社員のデジタルリテラシー底上げに向けて、外部セミナーや勉強会に積極的に参加し、最新のテクノロジーに触れる機会を提供します。

## 戦略Ⅱ

IoT・AIを活用した  
環境配慮型設備の実現

IoTやAIを活用した設備により空気と温度を一括管理することで、お客様に安心して安全な環境を提供し、お客様の健康を守る取り組み高度化します。

- 空調設備にIoTを取り付けることで、室内の温度や二酸化炭素濃度、設備の稼働状況をデータとして収集し、一括管理を行います。
- 収集したデータをリアルタイム分析することで、温度調整案内や換気案内など、空調設備からお客様へ自動で案内する仕組みを実現します。
- IoTから収集した大量のデータをAIで定期的に分析することで、設備の故障予測や新たなサービス開発等へ活用します。
- データ分析で得られたノウハウを他の業務に展開することで、データ分析を組織として定着させます。

## 戦略Ⅲ

## 計画的な業務のデジタル化

システム導入による費用対効果を十分検証し、効果が高いものから順次デジタル化することで、業務効率化とペーパーレス推進（環境保全）に取り組みます。

- まずは、紙で運用している報告業務（勤怠管理や日報報告等）をデジタル化していきます。
- 社内で管理しているファイルサーバをクラウド（オンラインストレージ）に移行することで、社員にとって働きやすい環境を実現するとともに、災害発生時の業務継続性を強化します。
- Web会議やオンラインストレージの活用による効率的なミーティングを実現します。

# 3 環境整備 ～組織・人材育成・IT環境～

## (1) 組織

- 代表取締役直下に「DX推進会議」を設置し、定期的にDX推進計画の進捗状況を確認するとともに、デジタル技術の情報収集を行います。
- 技術開発部を新設し、新しい環境技術について調査・研究するとともに、DX推進計画の責任部署とします。
- 外部機関（ITベンダ、自治体等支援機関）と連携・協業することで、外部機関のノウハウを社内に取り込んでいきます。

### 【外部機関】

- ITベンダー
- 自治体等支援機関

連携  
協業

DX推進会議

代表取締役

取締役会長

技術開発部

営業部

工務部

総務部

## (2) 人材育成

- 技術開発部に「DX担当責任者」を任命し、戦略を着実に実行していきます。
- 全社的なITリテラシーの底上げを目的に、情報処理技術者試験（ITパスポート試験）をはじめとした、デジタル関連資格の取得を推奨していきます。
- 研修動画やEラーニングにデジタル関連のコンテンツも整備することで、社員向けに学習機会を提供します。

## (3) IT環境

- IoTから発生したデータを蓄積するためのデータベース環境を整備します。
- データ分析に必要なソフトウェアやAIツールを選定し、導入します。
- クラウドを安全に利用するために、ネットワークやセキュリティ対策を実施します。
- デジタルツールの更なる導入に向けて、ツールの評価方法や効果検証方法等を整備していきます。

# 4 成果指標

次の指標により各戦略の成果状況を把握していきます。

## 戦略Ⅰ

効果的かつ効率的な  
技術者・監理者育成

2026年までに  
技術者・・・+ 5名  
監理者・・・+ 3名

## 戦略Ⅱ

IoT・AIを活用した  
環境配慮型設備の実現

- ・2025年  
環境配慮型設備のコンセプト決定
- ・2026年  
IoT・AI環境整備完了
- ・2027年  
サービス開始

## 戦略Ⅲ

計画的な業務のデジタル化

- ・2024年  
勤怠管理システムの導入完了
- ・2025年  
日報の完全デジタル化完了  
オンラインストレージ導入完了

また、次の指標により、デジタル人材の育成状況を把握していきます。

## 人材育成

・技術開発部の人員体制



・2027年までに3名

・デジタル関連資格の保有者数



・2027年までに5名（延べ人数）